

保健だより



令和3年1月15日
水海道二高保健室

換気・換気・換気！！

～環境衛生結果より～

14日(木)に、学校薬剤師の黒鳥哲司先生に來校していただき、環境衛生検査を実施いたしました。

特に本館1～3階の普通教室(各回1教室を)の照度と二酸化炭素濃度・温度・湿度の状態を検査しました。

照度

基準：・照度の下限値は300 lxとする。また、教室及び黒板の照度は、500 lx以上が望ましい。
・教室及び黒板のそれぞれの最大照度と最小照度の比は、20：1を超えないこと。また、10：1を超えないことが望ましい。

判定：基準値適合○。

まぶしさ

基準：児童生徒等から見て、黒板の外側15°以内の範囲に輝きの強い光源(日光の場合は窓)がないこと。見え方を妨害するような光沢が、黒板面及び騎乗面がないこと。見え方を妨害するような電灯や明るい窓等が、テレビ及びコンピュータ等の画面に映じてないこと。

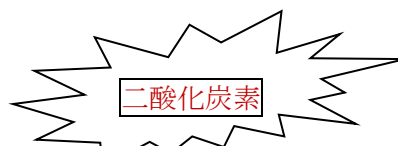
判定：適合している○。

温度

基準：10℃以上、30℃以下であることが望ましい。
判定：15.9～17.1℃で3教室○。

湿度

基準：30%以上、80%以下であることが望ましい。
判定：36.7～46.1%で3教室○。



基準：1500ppm以下であることが望ましい。

判定：

	1回目	2回目
1階教室	2500 ×	1600 ×
2階教室	1600 ×	1400 ○
3階教室	1100 ○	900 ○

さて、今回の検査結果から、学校生活で注意してほしいのは次のことです。

二酸化炭素濃度は、空気の汚れを示すものです。40人もの人間がいる教室で締めきっていると、すぐに基準値を超えてしまいます。

今回は、すでに授業が始まったときに基準値を超えているクラスがありました。
薬剤師の先生が、換気を促し、2回目に測定したときには濃度が下がっていました。

基準値を超えていないクラスは、エアコンのみの暖房で、廊下側とベランダ側の窓が開いていました。

窓を開ける際は、空気が入れ替わるよう2カ所以上開け循環する道をつくりましょう。休み時間になったら、すべての窓を開けるのもいいでしょう。

現在、COVID-19の感染拡大が懸念されています。どうぞ積極的に換気してください

毎日の健康観察・体温測定入力をし、昼食時の過ごし方に気を付け、引き続きCOVID-19の感染予防をしましょう！！